学校番号	１００１

令和８年度　芸術科　音楽

教科	芸術	科目	民族音楽	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	プリント等						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実際に様々な種類の楽器を演奏することや､映像や音源を鑑賞することで民族音楽をより身近に感じ､その歴史的背景や各民族の文化などを学習し､民族による音楽に対する考え方の違いなどを学習し、音楽の存在の重要性を実感する。
授業を「受ける」のではなく、授業に「参加する」ことがまず必要です。積極的な姿勢で授業に参加し、音楽に対する知識だけでなく、実際に音楽を演奏するだけでなく、それをクラス内で実技発表してもらいます。

2　学習の到達目標

世界各地にあるさまざまな民族音楽を実際に演奏、また楽器製作、鑑賞することによって、言語を超えて共有できる人間としての「音楽」とは何か、様々な個性や違いを考えることができる。
① 世界各地の音楽の曲種に応じた奏法の工夫、知識の習得を身につけることができる。
② 各地の音楽の曲の構成や曲想を把握して表現することができている。
③ 積極的に授業に参加しようという姿勢や準備ができており、自分の取り組みなどを自己評価することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・歌唱 発声法など、曲種に応じて工夫､知識の習得と実践ができている。 ・器楽 様々な楽器の体験と奏法の工夫､知識の習得と実践ができている｡楽器の製作を指示説明を理解して実践できる。 ・鑑賞 さまざまな音楽の特性と表現上の効果についての知識習得ができている。	・歌唱 曲想の把握と表現の工夫ができている。 アンサンブルにおける表現の工夫ができている。 ・器楽 曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫ができている。 弾き歌いにおける表現の工夫ができている。 ・鑑賞 さまざまなジャンルの音楽作品を歴史的、文化的観点からも知ることができている。	・歌唱 積極的に授業に参加しようとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・器楽 技術習得に向けて積極的に取り組もうとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・鑑賞 記録シートを活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	音楽とは	プリント学習	a: 西洋と東洋、地域の歴史的背景、楽器分類法などが理解できている。 b: 民族の違いにおける表現の工夫ができている。 c: 積極的に授業に参加しようとする姿勢、振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	プリント提出 振り返りシート	プリント提出 振り返りシート	プリント提出 振り返りシート 準備物
前期・後期	器楽	東南アジアの音楽 (ケチャ、アンクルン、ガムランなど) アフリカの音楽 (ジェンベ、カホンなど) ペルー地域の音楽 (ケーナなど) 日本の音楽 (三線、尺八など)	a: 様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。 b: 曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫、発表する曲の表現の工夫ができている。 c: 技術習得に向けて積極的に取り組もうとしている。振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	鑑賞	教材に関する音源、映像鑑賞 様々なジャンルの音源、映像鑑賞	a: 声や楽器の特性と表現上の効果についての知識習得ができている。 b: さまざまなジャンルの音楽作品を歴史的、文化的観点からも知ることができている。 c: 記録シートを活用している。	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度